

# 青森県の 市町村 情報



## 七戸町ミニデータ

- 人口 13,853人
- 世帯数 6,756世帯  
(令和7年4月1日現在)
- 特産品  
にんにく、長いも、トマト、りんごジュース、にんにくみそ、地酒「駒泉・作田」

【概況】七戸町は、青森県東部に位置し、北と東に東北町、西は青森市、南は十和田市に接する内陸の町です。十和田湖や三沢、下北へ通じる交通の拠点であると同時に、町のほぼ中央には東北新幹線七戸十和田駅があり、県南地方の交通、観光の要となっています。

## 七戸町発★キラリ

各市町村で活躍するグループ・団体・企業等を紹介します。

今回は七戸町の公営塾『柏葉塾』をご紹介します。

みずかみまさとし  
マネージャーの水上雅俊さんにお話を伺いました。



▲七戸公営柏葉塾  
マネージャー  
水上 雅俊さん

七戸高校の生徒会館にある柏葉塾は、七戸町が2021年度に開設し、株式会社Birth47が運営する公営塾です。教育魅力化によるまちづくりを推進し、北海道や大分県など全国で公営塾を手掛ける同社が、そのノウハウを活かして、七戸高校の魅力化と七戸町の関係人口を増やすことを目標に日々活動しています。学習指導のみならず地方創生にも努める柏葉塾の取り組みについて、マネージャーの水上雅俊さんにお話を伺いました。

「生徒であれば誰でも無料で通える塾が校内にあるということが七戸高校の大きな特色となりました。このことを周知して入学者を増やすということが、私たちの大きな役割の一つです」と水上さん。高校の説明会に帯同するなどして、入学や入塾を呼びかけています。受験生と保護者に向けて伝えてるのは、生徒一人ひとりに合わせた指導をしているということ。大学受験を目指す生徒、専門学校を目指す生徒、公務員試験を目指す生徒、民間企業への就職を目指す生徒。進路が多様な七戸高校の生徒たちのために、個々のカリキュラムを用意できる点を一つの魅力としてアピールしています。「塾開設から5年目を迎え、

### 地元高校の魅力化を目指す 青森県初の公営塾「柏葉塾」

七戸高校にこのような塾があるということに少しづつ認知されてきているように感じています。塾があるから七戸高校に入ったという生徒の声もありました。人口減少という厳しい状況の中ですが、努力を続けていきたいと思っています」。

### 地元が好きを人々を増やして 長期的な関係人口の増加につなげる

柏葉塾では、企業に協力を仰ぎながら、お仕事講話の取り組みを2ヶ月に1回ほどの頻度で行っています。「七戸町には立地企業を含め、さまざまな業種の会社があります。生徒たちはそこへ行き体験することで、将来の選択肢を広げることができそうです。地元でこういう働き方ができるのだと知れば、一度は町外に出てもまた戻ってくるかもしれません。例えば町外に拠点を構えたとしても、何かしらの方法で関わるという選択肢も生まれるかもしれません。そういう人が増えていくことで、長期的な関係人口の増加につながること目指しています」。

このような取り組みは、株式会社Birth47が運営する公営塾の中でも、七戸町が最初の自治体で、大分県国東市や静岡県川根本町等で運営する公営塾にも導入に対して意欲的なようです。「自分の成長にもつながる取り組み」と水上さんは感じているそう。「今までは塾の講師として進路に向けてのカリキュラムに取り組むことがほとんどでしたが、柏葉塾ではさまざまな角度から生徒と向き合えることにやりがいを感じます」と、笑顔です。「役割を果たすことはもちろんですが、生徒たちが自分の夢に向かって安心して通える環境を整えることが一番。これからも、このことを第一に心がけていきたいですね」。

### 私が男女共同参画を 担当しています

七戸町企画調整課  
主任主査

蛸名 夏季 さん



七戸町では令和6年度に「第3次七戸町男女共同参画基本計画」を策定しました。策定委員会には一般市民の方々にも入っていただいた中で、ある女性委員から「自分が働き始めた頃よりも女性が働くということは当たり前になっている。男女共同参画が広まってきているのを感じる」という声がありました。役場の中でも男性職員が当たり前に育児休業を取るようになってきているなど、変化を感じる場面が多くあります。これからも変わり続けていけるよう、これまで町でやってきた取り組みを男女共同参画に絡めながら進めていきたいと考えています。そんな中、今年から「広報しちのへ」で4コマ漫画での啓発を新たに始めました。ちよっとした気づきのきっかけになればと期待しています。

昨年7月には、「あおもりウイメンズアカデミー 地域女性リーダーコース」の事業として、「まちづくりセミナー」が七戸町で開催されました。七戸町で活動する地域おこし協力隊や、六戸町や野辺地町など近隣の市町村からのご参加もあり、親子の居場所に関する発表や世代間交流に関する発表などを行っていただきました。何かしたいという想いが参加者の中で芽生え共有できたようで、とても意義があるものだったと思います。

柏葉塾のお仕事講話の取り組みはリターンにもつながるもので、町としても大変期待しています。少しでも多くの若者たちが、七戸町を好きになってくれると嬉しいです。

(取材：井藤 雪香)